



株式会社mino-lio

使用済みエンジンオイルで いちご栽培を実践 資源循環型の農業スキームを確立



所在地 高崎市

住所・・・高崎市中尾町467
TEL・・・027-231-2111 (GNホールディングス内)
URL・・・<https://mino-lio.co.jp/>
代表者・・・天野 洋一
設立・・・2022年12月
資本金・・・100千円
従業員・・・6名



事業者紹介

GNグループには、群馬日産自動車(株)や日産プリンス群馬販売(株)のほか、大型トラック等を取り扱うGNロジパートナーズ(株)、持株会社のGNホールディングス(株)内にはアウディ車の販売部門も存在します。各社で行われている自動車の点検時には、大量の使用済みエンジンオイル(廃油)が排出されます。この廃油は、不純物を濾過することで再生重油として再利用することが可能です。GNグループの農業法人・(株)mino-lioは、この再生重油を活用したいちご農園を設立。将来的には再生重油を県内のハウス園芸農家へ安価かつ安定的に供給することで、農業界の脱炭素化と活性化を目指しています。

経緯・背景

農業の脱炭素と原油高騰からの農家救済。この両者を実現するために、私たち自動車販売会社に何ができるかを考えたとき、たどり着いたのが整備工場から安定的に排出される「使用済みエンジンオイル(廃油)」の活用でした。廃油を「再生重油」に転換すれば、CO₂排出実質ゼロの農業活用が可能です。しかも、再生重油はA重油に比べて極めて安価。この農法を確立させれば、私たちにしかできない農業界への貢献ができると考えました。

再生油を活用した 「イチゴ生産研究会」を発足 農業の脱炭素化に向かって

具体的な取組・成果

2023年、GNグループの各整備工場から排出された使用済みエンジンオイル(廃油)の総量は約433,000ℓ。GNグループではこの廃油をすべて、太田市の群桐産業様に回収をいただいております。同社工場では、この廃油を遠心分離機にて濾過後、混在した水分も除去し、質の良い再生重油へと転換しています。私共、農業法人mino-lioは新しい資源循環型の農業スキームの確立を目指して、この再生重油10,000ℓを農業用ビニールハウスの暖房燃料として活用し、いちご栽培を実施いたしました。

定期点検等で自動車をご入庫いただいたお客様より回収した廃油をもとに、いちごを栽培し、収穫したいちごをまたお客様に食べていただくという「循環」を「ぐるり」という親しみやすい響きに置き換え、農園の名は「ぐるりいちご農園」としました。2023年9月に社員とその家族約90名で苗の定植(やよいひめ・よつぼしの2品種)を行い、12月より収穫を開始。収穫は翌2024年5月末まで続きました。収量は約6トン。いちごはお客様へのご来場記念品、ご成約記念品としてプレゼントさせていただいた他、GNグループ社員向けの販売も行い好評を得ました。また、外部販売も積極的に実行し、以下に記載した販売ルートへ納品をいたしました。



再生重油は省エネ法上で非化石燃料に分類され、温対法上では燃焼させてもCO₂排出は「実質ゼロカウント」とされており、これは化石燃料の使用を抑制し、資源リサイクルをより一層高いレベルで実行していくためです。両法は本スキームが農業の脱炭素化に貢献できるということを裏付けるものであり、価格も一般的な農業用A重油の約60%程度であることから、農家の環境面でのブランディングや経費削減への貢献が期待できます。私共mino-lio設立の目的は、この安価で安定的に生成される再生重油とこの再生重油を用いた農業スキームを、燃油の高騰に苦労している群馬県内の農家/農業法人へ提供することです。

来季以降、それらを本格的に実行するため、初年度は高崎市との間で「個別連携に関する協定」を結び、「再生油を活用したイチゴ生産研究会」も発足させました。

- アワード受賞
第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞 SDGs貢献賞
主催：(一社)日本自動車会議所 日刊自動車新聞
第2回全国いちご選手権 入賞
主催：日本野菜ソムリエ協会
- 販売実績
JAファーマーズ(県内4店舗)・高崎じまん(OPA内)・イオンスタイル・県内結婚式場・県内和菓子店・洋菓子店・ジェラート販売店ほか
- メディア取材実績
上毛新聞・FM群馬・群馬テレビ・NHK・日本経済新聞・読売新聞・BS朝日ほか
- その他
クラウドファンディング TSUNAGU+(初回出展)/農産品専門ECサイト 食べチョコ出品

この農法はSDGsの観点からも実践する価値があると考えておりますが、例えば再生重油の価格は市場価格の60%程度であることから、今後も予想される原油高リスクへの対抗策として、農家/農業法人の皆様にはしっかりPRしていきたいと考えております。

当社にとってのSDGsビジョン

近隣農家に再生重油を安価に提供することはもちろん、再生重油専用バーナーの販売、加温機のメンテナンスなどを通して、使用済みエンジンオイルの有効活用、資源循環型農業の実現と定着、持続可能な農法の確立を目指します。

今後の展望と求めるパートナー像

再生重油のほか、廃プラ油を使用した農法を確立し、同農法を実践していただける農家/農業法人を探してまいります。同時に、再生重油の普及に不可欠な運搬業者様と、私共のほかに再生重油をご提供いただける企業・工場との間で、再生油の農業利用を推し進めるコンソーシアムの設立を計画しております。